



社会福祉法人ひまわり理念
 ・利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること
 ・地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献すること

基本方針
 ・利用者があるがままの姿を受け入れ、見守り、優しく安らぎのある施設にします
 ・利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平等な援助に努めます
 ・地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目指す
 ・社会で通用する接遇を修得し、利用者に明るく気持ちの良い態度で接します
 ・日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます

社会福祉法人 ひまわり 広報部発行
 0978-52-2233 0978-66-550
 杵築市 ひまわり 検索
<http://www.wel-himawari>



小規模老人保健施設ゆすら

来年4月の事業開始に向けて杭打ちが始まりました。2階建てですが、もと塩田地帯で地盤が緩い為25mの杭を64本も打ちます。高い場所での作業を見ていると我々も冷や冷やしてしまいますが、安全に全工程が完了する事を祈るばかりです。今後この広報誌ひまわりで工事の進捗状況などを紹介していきますのでよろしくお願います！

11月の福祉サービス相談委員巡回は11月21日(土)の10時よりひまわりハウスにて綿末相談員が行います。
 事前の連絡は必要ございませんのでお気軽にご相談下さい。



第6回大田福祉祭り開催迫る！

今年も10月31日に大田地区にある介護保険事業所が共同して行う「第6回大田福祉祭り」が開催されます。今回はバザーや鼓笛隊、神楽、フラダンスなど見どころ満載で皆様のご来場を心よりお待ちしております。尚、今回は午前中までの開催となります。
 また当日の会場設営や運営を手伝っていただけのボランティアスタッフが募集中です。
 問い合わせ先
 大田福祉祭り実行委員会
 0978-52-2233
 実行委員長 山田まで

脳トレ

三楽園では利用者様へ計算や漢字の書き取りの問題を提供しています。取り組む姿は普段の様子と違って変わり真剣そのもので、4



観月祭

三楽園では今年も観月祭に行灯を展示しました。色紙で作ったコマスを障子紙に貼り付けて行灯を作り、それをたくさん並べてコマス畑にしてみました。
 利用者様方も貼り付け作業や色鉛筆で描く作業をして下さり、のびのびとしたカラフルなものが出来上がりました。
 実際に展示された行灯を利用者様方に見て頂けなかったのは残念ですが月夜に満開に咲いた綺麗なコマス畑でした。

三楽園デイサービス

運動会

きつきの里でも毎年恒例の運動会を行いました。予め、ひまわりカレンダーに「運動会」の日程を書いていたので運動会当日は朝から「今日は頑張るぞー！」という男性利用者も居られ、運動会の朝のドキドキ感は何つになっても変わらないのだと感動しました。
 競技は紅白に分かれて玉入れとリレーゲーム等を行いました。そして最後に職員競技の紅白対抗すいか割りを行った際には助の良くない職員がおそろおそろ前へ進みすいかの乗ったテールを通り越してしまつた時は、一同大笑となりました。
 「おもしろかったなあ。こんなこともないと笑われないなあ。」「疲れたなあ。」「との会話が聞こえてきました。利用者の皆様楽しんで頂けたでしょうが。」



訪問看護通信

きつき訪問看護ステーション

インフルエンザの時期になりました

インフルエンザワクチンの接種の準備は出来ていますか？新型インフルエンザが猛威をふるった際にはワクチンの数が足りなくなり、その結果ワクチンの値段が上がりました。今年もマスコミ等で価格上がる話はちらほら聞かれます。
 今年の値上げについては今まで3価(A型株2種類・B型株1種類)であったのが1種類追加され4価(A型B型共に2種類)に抗原が増量された事が値上げとなった理由です。接種の優先順位はなくワクチンの不足もありません。13歳以上は1回の接種量は同じです。インフルエンザワクチンは感染を完全に抑える事が出来ませんが、程度を抑える事がわかつています。高齢者や基礎疾患を持つ方のインフルエンザ罹患による重症化を防ぐことが目的です。厚生労働科学研究事業の報告では65歳以上の健康な高齢者に対しては45%の発病を阻止し、約80%の死亡を防ぐ効果があったとされています。

編集後記

先月紙面の都合からお休みさせて頂きましたので2カ月ぶりの編集後記です。皆様がお過ごしですか？私は元気です。さて、特に書く事も無いので私の長男である薫平君についてのお話をさせて頂きます。(親バカですみません)彼は小学3年生で野球に夢中で、毎日白球を追いかけています。勉強はあまり得意でなく、父親に似て忘れ物ばかりしています。壁ドンをやつて女子を泣かせてしまいました。「俺がしたいわ！」と答えておきました。さらに授業参観日に行く教室の後ろの展示コーナーに「な」「か」「ま」という3文字を使った作文が生徒ごとに貼られていたのですが、他の生徒のは「な」「か」「ま」かまを大事にする子。「か」がえる子。「ま」けない子。等等素晴らしい内容なのですが、薫平君は「お」「な」「か」が、た「ま」って動けない」という自身がご飯を食べすぎて動けなくなった経験を書いていました。本当に馬鹿だと思えます。誰に似たのでしょうか。しかし、野球になると別人です。オレンジボールという小さな軟式ボールを使った小学校3年生以下のチームのリーグ戦が大分市と別府市で開催されています。別府市の決勝戦で先発のマウンドに立った薫平くん、やはり決勝戦だけあって相手が強く3回を終えた時点でワールド負けでした。3回を投げきり12失点、160級の粘投でした。最後まで心折れる事なく投げ切った薫平君が本当に頼もしく思いました。
 悔し泣きしそうになる薫平君でしたが堪えた姿に私が泣きそうになりました。
 写真は七夕での薫平君の願い事です。



ひまわりハウス

敬老会

9月21日にひまわりハウスで敬老会を行いました。はじめに敬老の日の由来を利用者様方へ「敬老の日は兵庫県多可郡野間谷村の村長であった門脇政夫氏とその助役であった山本明氏が昭和22年に提唱したことが始まりとされています。」と紹介すると「ほおー」「そんなに前からあつたんやな」と感心する声がかれました。また、「平成14年までは毎年9月15日を敬老の日としてたが平成13年の祝日法改正の実施によつて平成15年からは9月の第3月曜日となりました」と紹介すると、「そうじゃつたかな」と「へえ、気づかんかったわ」と皆様口々に感心されていました。次に、今年もひまわりハウスで元気に敬老の日をむかえることができたことに職員からの感謝の気持ちとして表彰状を一人ひとりに送りました。皆様、「おおーこんなおのくれるんかえ」「部屋に飾らせてもらおう」と大変喜ばれていました。中には「こんな贈り物をもらえて嬉しいわ」と涙して喜んでくださる方もいらつしました。そして、これから迎える冬に備えてくつ下をプレゼントし、最後に全員で里の秋や、秋にちなんだ歌を歌って敬老会を締めくくりました。来年もひまわりハウスで元気に敬老の日を迎えましょう。また来年の敬老会も楽しみだなと思つていただけるといいな、そして思い出しに残り、生きる意欲に繋がるといいな、敬老会や行事を考えていきたいと思ひます。

桁の足し算や引き算や漢字の問題を解かれています。時折、職員を呼び止め「これ、どう書くんかなあ？」と尋ねてこられますが、職員も分からない事があり、しどろもどろになってしましますが調べて答えております。その他にも「間違ひさがし」や「ナンプレ」にも取り組む方もおり、「じつとしちよつては悪いから何かせんとな！」「三年生の漢字は難しいな」「これするのが楽しみや！」等々感想は様々で今や生活の一部となっているようです。



瑞雲荘

避難訓練

9月29日に杵築消防組合立ち会いのもと、避難訓練を行いました。利用者様と、安全に施設前駐車場まで避難させるのに7分と短時間で出来るようになりました。また、消防署の職員より消化器の使用法についての説明を受け、実際に職員が

水消火器を使い火元に見立てた目印に向かい消火活動を行いました。防災はこつこつと日々の訓練の積み重ねが大事であると再認識できました。



大運動会

食欲の秋？読書の秋？芸術の秋？スポーツの秋？皆様の秋は何の秋でしょうか？瑞雲荘ではスポーツの秋という事で大運動会を開催しました。大田こども園の園児達も駆けつけてくれて年齢層が高いのか低いのかわかなくなりましたが、年齢を問わず皆で汗を流し、玉入れや、風船バレー等の競技を楽しみました。また園児達が踊りを披露してくれ、場内は拍手喝采でした。つかの間の園児達との触れ合いに利用者様の皆様は「皆、えらいな」と目を細めていました。大田こども園のみんな！どうも有難う！また来てね！待つてるよ！



きんぎょの里デイサービス

守江幼稚園児来所

9月30日に守江幼稚園の子供達が来所しダンス等を披露してくれました。園児全員で「おはようございます。」と元気よく挨拶と自己紹介をしてくれました。そして、園児たちの小さな身体には大きなぎるフラフープを一生懸命回しながら踊ってくれました。

最後に園児達が利用者様へ肩たたきをしてくれ、利用者様は皆、気持ちよさそうな表情で「こんなかわいい人達に肩を叩いてもらつてうれしかった。」「私もこんな時があつたんじゃないけどなあ。」等の感想をおっしゃつてました。守江幼稚園の園児のみんな、ありがとうございました！また来てね！



お茶会

昨年までひまわりハウスをご利用されていた矢野八十様のご家族のご好意で、10月2日にお月見お茶会をひらいてくださいました。



りを送りました。皆様、「おおーこんなおのくれるんかえ」「部屋に飾らせてもらおう」と大変喜ばれていました。中には「こんな贈り物をもらえて嬉しいわ」と涙して喜んでくださる方もいらつしました。そして、これから迎える冬に備えてくつ下をプレゼントし、最後に全員で里の秋や、秋にちなんだ歌を歌って敬老会を締めくくりました。来年もひまわりハウスで元気に敬老の日を迎えましょう。また来年の敬老会も楽しみだなと思つていただけるといいな、そして思い出しに残り、生きる意欲に繋がるといいな、敬老会や行事を考えていきたいと思ひます。

まず、矢野様にご挨拶を頂き、お茶会が開始しました。矢野様が開催しているお茶教室のお弟子さんの高校生も参加してくださいました。皆さんから「可愛いなあ」「女優さんみたいやな」との声があがり、華やかな雰囲気になりました。お茶菓子はわざわざ新潟から取り寄せられた「雲隠れ」という銘菓で雲に見立てた淡雪を半分に切ると中からお月様のような黄み餡が出てくるという風情のあるお菓子でした。「珍しいなあ」「美味しいわあ」「食べるのがもつたないなあ」等々、あちこちから嬉しい声が上がっていました。和服美人達に立っていただいたお抹茶は格別の味わいがあったようで、「お替わりはないんかえ！？」とお替わりを頼まれた方もおられる程でした。



矢野様にはご利用が終わられた後もハウスへのご支援を頂いています。このようなご縁に感謝をして、これからも様々な方との繋がりを大切にすまわりハウスでありたいと思ひました。